

第46回「山形県内家計の消費動向調査」結果

(平成29年12月調査)

消費マインドは2期ぶりに悪化。
先行きも悪化の見通し

【調査の要旨】

- **消費指数**は、▲57.8（前期比5.4ポイント下落）と下落し、2期ぶりに悪化となった。内訳は景気判断指数が▲23.8（前期比2.3ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲34.0（前期比3.1ポイント下落）といずれの指数も悪化した。
- **今後の見通し**は、▲64.3（今回調査比6.5ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。内訳は景気判断指数が▲26.8（今回調査比3.0ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲37.5（今回調査比3.5ポイント下落）といずれも悪化が見込まれており、引き続き先行きへの不安感がうかがえる。
- **大きな買い物**への支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、前回調査に比べて、すべての項目で若干低下となった。
- **家計簿調査**は、収入面では可処分所得（収入の手取り額）が441千円と前年同期比で11千円の減少となり、支出面では支出計が405千円と前年同期比で12千円の減少となった。その結果、平均消費性向（家計支出/可処分所得）は91.7%となり、前年同期に比べて0.4ポイントの低下となった。
- **節約の意識について**尋ねたところ、「かなり意識している」が36.5%、「やや意識している」が54.3%とほぼ前年と同様の比率となり、節約を意識している世帯（「かなり意識している」+「やや意識している」を合わせた割合）は、依然として9割を超えて高い割合となっている。

平成30年1月
株式会社フィデア総合研究所

目次

I.	消費指数（総括）	1
II.	消費指数（内訳）	3
1.	景気判断	3
（1）	景気判断の概況	3
（2）	景気判断の推移	4
2.	暮らし向き判断	5
（1）	暮らし向き判断の概況	5
（2）	暮らし向き判断の推移	6
III.	支出意向	7
（1）	支出意向DIの推移	7
（2）	支出意向（大きな買い物）の推移	8
IV.	家計簿調査	9
V.	特別調査	11
1.	節約の意識について	11
（1）	節約の意識について	11
（2）	節約を意識している理由	12
（3）	節約を特に意識する出費	14
VI.	調査の概要	15

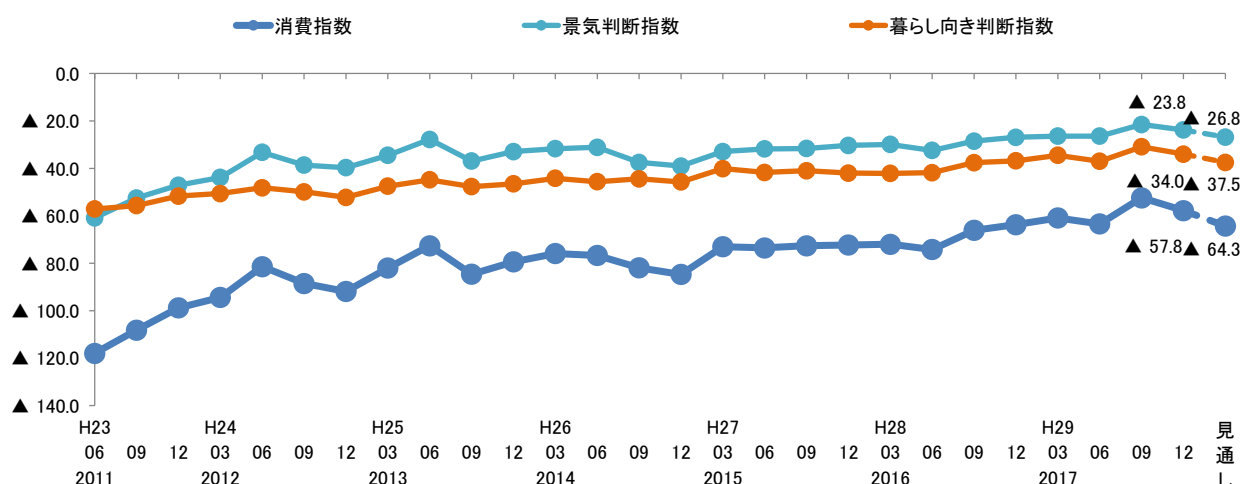
I. 消費指数（総括）

～消費マインドは2期ぶりに悪化。先行きも悪化の見通し～

消費指数は▲57.8（前期比 5.4 ポイント下落）と下落し、2 期ぶりに悪化となった。内訳は景気判断指数が▲23.8（前期比 2.3 ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲34.0（前期比 3.1 ポイント下落）といずれの指数も悪化した。

今後の見通しについては、消費指数が▲64.3（今回調査比 6.5 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。内訳は景気判断指数が▲26.8（今回調査比 3.0 ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲37.5（今回調査比 3.5 ポイント下落）といずれも悪化が見込まれており、引き続き先行きへの不安感がうかがえる。

図表 1 消費指数の推移



【指数の見方】

消費指数は（1）景気判断指数（景気・雇用環境・物価の3項目で構成）と（2）暮らし向き指数（世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成）の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

図表 2 消費指数（内訳）の推移

消費指数		消費指数										
調査時期		(1)景気判断指数							(2)暮らし向き判断指数			
				①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり		
24年	12月	▲ 91.9	▲ 39.7	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 9.5	▲ 52.2	▲ 12.9	▲ 14.0	▲ 10.2	▲ 15.1	
25年	3月	▲ 82.0	▲ 34.5	▲ 8.8	▲ 10.6	▲ 15.1	▲ 47.5	▲ 12.0	▲ 12.2	▲ 9.0	▲ 14.3	
	6月	▲ 72.6	▲ 27.8	▲ 5.4	▲ 7.3	▲ 15.1	▲ 44.8	▲ 11.3	▲ 11.4	▲ 8.2	▲ 13.9	
	9月	▲ 84.6	▲ 36.9	▲ 8.2	▲ 9.2	▲ 19.5	▲ 47.7	▲ 12.3	▲ 12.1	▲ 8.9	▲ 14.4	
	12月	▲ 79.4	▲ 32.9	▲ 6.5	▲ 7.0	▲ 19.4	▲ 46.5	▲ 11.9	▲ 12.2	▲ 8.5	▲ 13.9	
26年	3月	▲ 75.9	▲ 31.7	▲ 6.5	▲ 5.5	▲ 19.7	▲ 44.2	▲ 11.0	▲ 12.1	▲ 7.6	▲ 13.5	
	6月	▲ 76.7	▲ 31.1	▲ 4.5	▲ 2.5	▲ 24.1	▲ 45.6	▲ 10.6	▲ 11.7	▲ 9.3	▲ 14.0	
	9月	▲ 81.9	▲ 37.5	▲ 7.5	▲ 4.8	▲ 25.2	▲ 44.4	▲ 9.8	▲ 11.5	▲ 9.1	▲ 14.0	
	12月	▲ 84.7	▲ 39.0	▲ 9.7	▲ 5.7	▲ 23.6	▲ 45.7	▲ 10.5	▲ 12.1	▲ 9.3	▲ 13.8	
27年	3月	▲ 73.0	▲ 32.9	▲ 6.2	▲ 3.3	▲ 23.4	▲ 40.1	▲ 8.5	▲ 10.8	▲ 8.1	▲ 12.7	
	6月	▲ 73.5	▲ 31.8	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 23.3	▲ 41.7	▲ 8.8	▲ 11.0	▲ 9.0	▲ 12.9	
	9月	▲ 72.6	▲ 31.6	▲ 6.3	▲ 3.6	▲ 21.7	▲ 41.0	▲ 8.8	▲ 11.0	▲ 8.2	▲ 13.0	
	12月	▲ 72.3	▲ 30.3	▲ 6.7	▲ 4.8	▲ 18.8	▲ 42.0	▲ 8.9	▲ 11.2	▲ 8.8	▲ 13.1	
28年	3月	▲ 72.0	▲ 29.9	▲ 7.3	▲ 4.5	▲ 18.1	▲ 42.1	▲ 8.3	▲ 11.9	▲ 8.7	▲ 13.2	
	6月	▲ 74.2	▲ 32.4	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 18.0	▲ 41.8	▲ 8.5	▲ 11.8	▲ 8.3	▲ 13.2	
	9月	▲ 66.1	▲ 28.5	▲ 7.3	▲ 4.4	▲ 16.8	▲ 37.6	▲ 8.0	▲ 11.0	▲ 7.2	▲ 11.4	
	12月	▲ 63.7	▲ 26.9	▲ 6.1	▲ 3.8	▲ 17.0	▲ 36.8	▲ 7.5	▲ 10.1	▲ 7.5	▲ 11.7	
29年	3月	▲ 60.9	▲ 26.4	▲ 5.9	▲ 4.0	▲ 16.5	▲ 34.5	▲ 7.0	▲ 9.3	▲ 7.1	▲ 11.1	
	6月	▲ 63.4	▲ 26.4	▲ 5.2	▲ 1.1	▲ 20.1	▲ 37.0	▲ 7.0	▲ 10.2	▲ 7.8	▲ 12.0	
	9月	▲ 52.4	▲ 21.5	▲ 5.1	▲ 0.1	▲ 16.3	▲ 30.9	▲ 6.3	▲ 9.0	▲ 5.1	▲ 10.5	
	12月	▲ 57.8	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 0.3	▲ 18.7	▲ 34.0	▲ 7.4	▲ 8.7	▲ 6.2	▲ 11.7	
30年	見通し	▲ 64.3	▲ 26.8	▲ 6.4	▲ 2.2	▲ 18.2	▲ 37.5	▲ 8.1	▲ 9.3	▲ 8.4	▲ 11.7	

(前期差)

消費指数		消費指数										
調査時期		(1)景気判断指数							(2)暮らし向き判断指数			
				①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり		
24年	12月	▲ 3.4	▲ 1.1	▲ 3.6	0.1	2.4	▲ 2.3	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 1.1	▲ 0.4	
25年	3月	9.9	5.2	6.3	4.5	▲ 5.6	4.7	0.9	1.8	1.2	0.8	
	6月	9.4	6.7	3.4	3.3	0.0	2.7	0.7	0.8	0.8	0.4	
	9月	▲ 12.0	▲ 9.1	▲ 2.8	▲ 1.9	▲ 4.4	▲ 2.9	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 0.5	
	12月	5.2	4.0	1.7	2.2	0.1	1.2	0.4	▲ 0.1	0.4	0.5	
26年	3月	3.5	1.2	0.0	1.5	▲ 0.3	2.3	0.9	0.1	0.9	0.4	
	6月	▲ 0.8	0.6	2.0	3.0	▲ 4.4	▲ 1.4	0.4	0.4	▲ 1.7	▲ 0.5	
	9月	▲ 5.2	▲ 6.4	▲ 3.0	▲ 2.3	▲ 1.1	1.2	0.8	0.2	0.2	0.0	
	12月	▲ 2.8	▲ 1.5	▲ 2.2	▲ 0.9	1.6	▲ 1.3	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 0.2	0.2	
27年	3月	11.7	6.1	3.5	2.4	0.2	5.6	2.0	1.3	1.2	1.1	
	6月	▲ 0.5	1.1	0.6	0.4	0.1	▲ 1.6	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 0.2	
	9月	0.9	0.2	▲ 0.7	▲ 0.7	1.6	0.7	0.0	0.0	0.8	▲ 0.1	
	12月	0.3	1.3	▲ 0.4	▲ 1.2	2.9	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 0.1	
28年	3月	0.3	0.4	▲ 0.6	0.3	0.7	▲ 0.1	0.6	▲ 0.7	0.1	▲ 0.1	
	6月	▲ 2.2	▲ 2.5	▲ 1.8	▲ 0.8	0.1	0.3	▲ 0.2	0.1	0.4	0.0	
	9月	8.1	3.9	1.8	0.9	1.2	4.2	0.5	0.8	1.1	1.8	
	12月	2.4	1.6	1.2	0.6	▲ 0.2	0.8	0.5	0.9	▲ 0.3	▲ 0.3	
29年	3月	2.8	0.5	0.2	▲ 0.2	0.5	2.3	0.5	0.8	0.4	0.6	
	6月	▲ 2.5	0.0	0.7	2.9	▲ 3.6	▲ 2.5	0.0	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 0.9	
	9月	11.0	4.9	0.1	1.0	3.8	6.1	0.7	1.2	2.7	1.5	
	12月	▲ 5.4	▲ 2.3	0.3	▲ 0.2	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 1.1	0.3	▲ 1.1	▲ 1.2	
30年	見通し	▲ 6.5	▲ 3.0	▲ 1.6	▲ 1.9	0.5	▲ 3.5	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 2.2	0.0	

(前年同期差)

消費指数		消費指数										
調査時期		(1)景気判断指数							(2)暮らし向き判断指数			
				①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり		
24年	12月	6.9	7.4	1.9	4.4	1.1	▲ 0.5	▲ 0.4	0.4	▲ 0.3	▲ 0.2	
25年	3月	12.4	9.3	5.1	6.3	▲ 2.1	3.1	▲ 0.2	1.9	1.2	0.2	
	6月	8.8	5.4	4.7	5.9	▲ 5.2	3.4	▲ 0.1	2.0	1.1	0.4	
	9月	3.9	1.7	3.3	6.0	▲ 7.6	2.2	0.4	1.3	0.2	0.3	
	12月	12.5	6.8	8.6	8.1	▲ 9.9	5.7	1.0	1.8	1.7	1.2	
26年	3月	6.1	2.8	2.3	5.1	▲ 4.6	3.3	1.0	0.1	1.4	0.8	
	6月	▲ 4.1	▲ 3.3	0.9	4.8	▲ 9.0	▲ 0.8	0.7	▲ 0.3	▲ 1.1	▲ 0.1	
	9月	2.7	▲ 0.6	0.7	4.4	▲ 5.7	3.3	2.5	0.6	▲ 0.2	0.4	
	12月	▲ 5.3	▲ 6.1	▲ 3.2	1.3	▲ 4.2	0.8	1.4	0.1	▲ 0.8	0.1	
27年	3月	2.9	▲ 1.2	0.3	2.2	▲ 3.7	4.1	2.5	1.3	▲ 0.5	0.8	
	6月	3.2	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 0.4	0.8	3.9	1.8	0.7	0.3	1.1	
	9月	9.3	5.9	1.2	1.2	3.5	3.4	1.0	0.5	0.9	1.0	
	12月	12.4	8.7	3.0	0.9	4.8	3.7	1.6	0.9	0.5	0.7	
28年	3月	1.0	3.0	▲ 1.1	▲ 1.2	5.3	▲ 2.0	0.2	▲ 1.1	▲ 0.6	▲ 0.5	
	6月	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 3.5	▲ 2.4	5.3	▲ 0.1	0.3	▲ 0.8	0.7	▲ 0.3	
	9月	6.5	3.1	▲ 1.0	▲ 0.8	4.9	3.4	0.8	0.0	1.0	1.6	
	12月	8.6	3.4	0.6	1.0	1.8	5.2	1.4	1.1	1.3	1.4	
29年	3月	11.1	3.5	1.4	0.5	1.6	7.6	1.3	2.6	1.6	2.1	
	6月	10.8	6.0	3.9	4.2	▲ 2.1	4.8	1.5	1.6	0.5	1.2	
	9月	13.7	7.0	2.2	4.3	0.5	6.7	1.7	2.0	2.1	0.9	
	12月	5.9	3.1	1.3	3.5	▲ 1.7	2.8	0.1	1.4	1.3	0.0	
30年	見通し	▲ 3.4	▲ 0.4	▲ 0.5	1.8	▲ 1.7	▲ 3.0	▲ 1.1	0.0	▲ 1.3	▲ 0.6	

II. 消費指数（内訳）

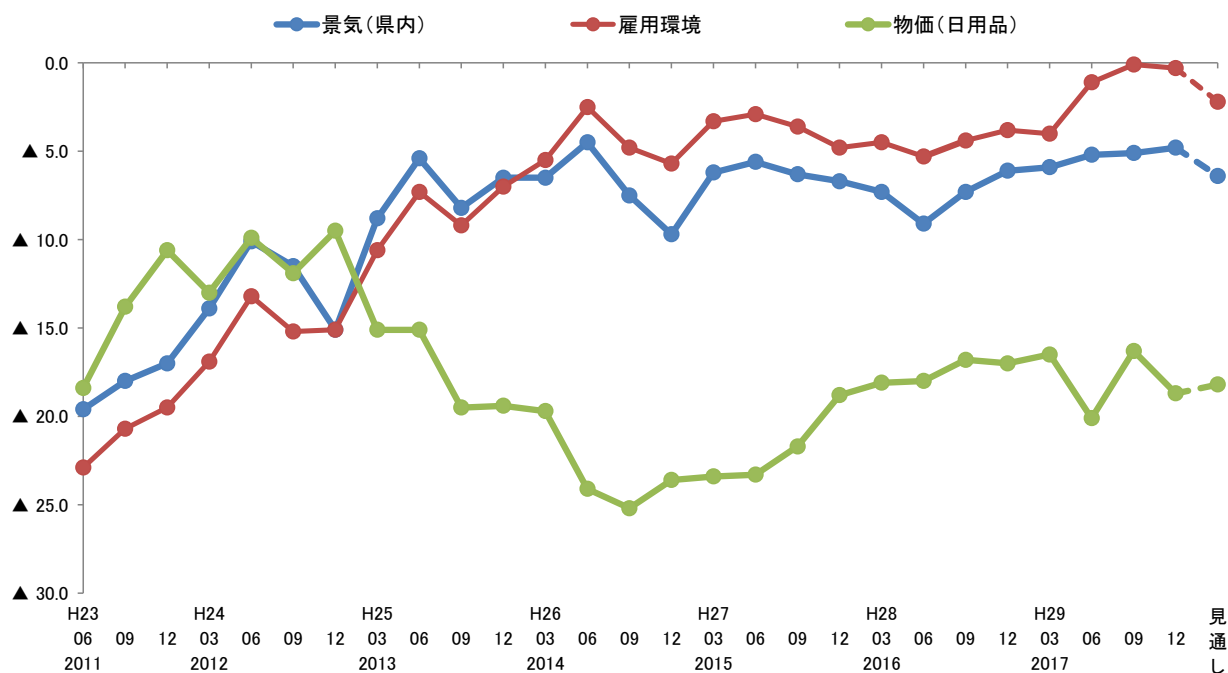
1. 景気判断

（1）景気判断の概況

景気判断指数は▲23.8（前期比2.3ポイント下落）と悪化した。景気判断指数を形成する3つの指数については、「景気（県内）」が▲4.8（前期比0.3ポイント上昇）、「雇用環境」が▲0.3（前期比0.2ポイント下落）、「物価（日用品）」が▲18.7（前期比2.4ポイント下落）と、「景気（県内）」「雇用環境」はほぼ横ばい、「物価（日用品）」は悪化となった。

今後の見通しについては、▲26.8（今回調査比3.0ポイント下落）と悪化が見込まれている。

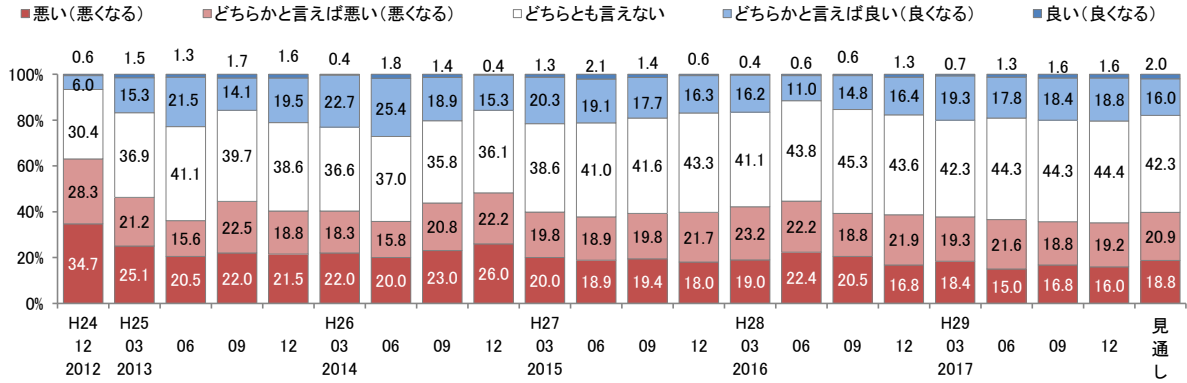
図表3 景気判断指数（内訳）の推移



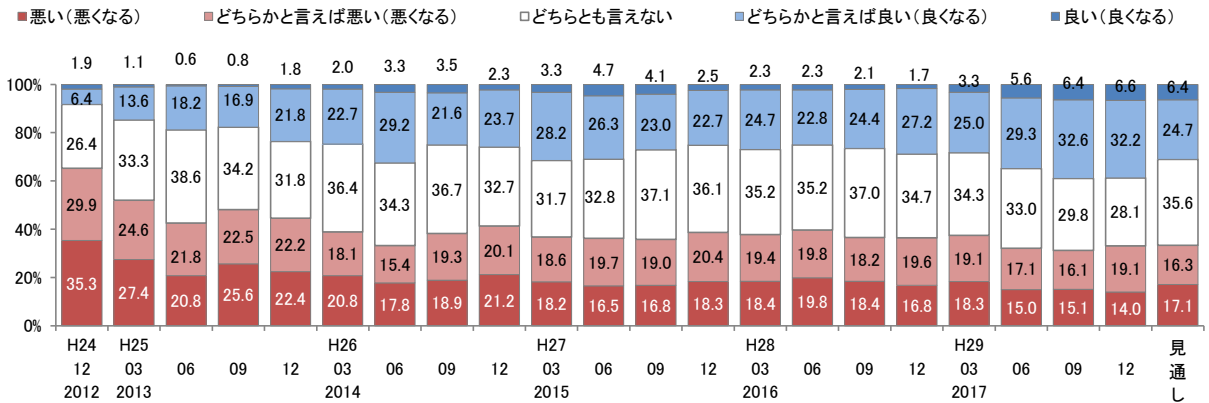
調査時期		景気判断指数			
		景気（県内）	雇用環境	物価（日用品）	
28年	6月	▲ 32.4	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 18.0
	9月	▲ 28.5	▲ 7.3	▲ 4.4	▲ 16.8
	12月	▲ 26.9	▲ 6.1	▲ 3.8	▲ 17.0
29年	3月	▲ 26.4	▲ 5.9	▲ 4.0	▲ 16.5
	6月	▲ 26.4	▲ 5.2	▲ 1.1	▲ 20.1
	9月	▲ 21.5	▲ 5.1	▲ 0.1	▲ 16.3
29年	12月	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 0.3	▲ 18.7
	(前期比)	(▲ 2.3)	(0.3)	(▲ 0.2)	(▲ 2.4)
	(前年同期比)	(3.1)	(1.3)	(3.5)	(▲ 1.7)
30年	見通し	▲ 26.8	▲ 6.4	▲ 2.2	▲ 18.2
	(前期比)	(▲ 3.0)	(▲ 1.6)	(▲ 1.9)	(0.5)

(2) 景気判断の推移

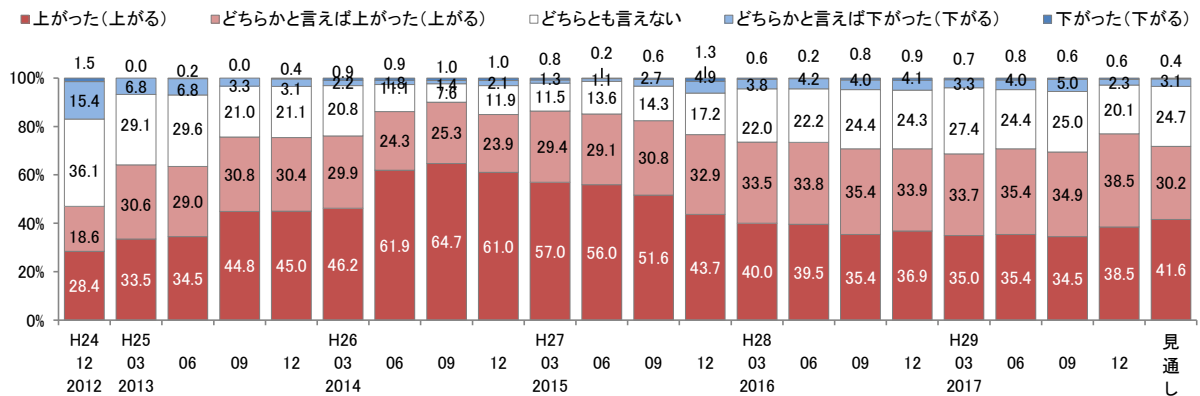
① 景気 (県内)



② 雇用環境



③ 物価 (日用品)

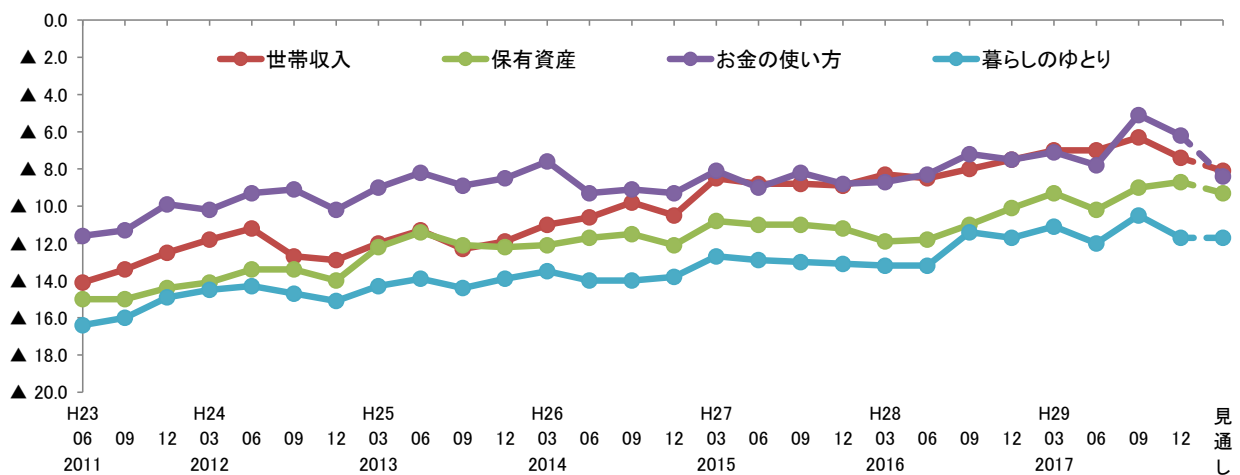


2. 暮らし向き判断

(1) 暮らし向き判断の概況

暮らし向き判断指数は▲34.0（前期比3.1ポイント下落）と悪化となった。暮らし向き判断指数を形成する4つの指数については、「世帯収入」が▲7.4（前期比1.1ポイント下落）、「保有資産」が▲8.7（前期比0.3ポイント上昇）、「お金の使い方」が▲6.2（前期比1.1ポイント下落）、「暮らしのゆとり」が▲11.7（前期比1.2ポイント下落）と、「保有資産」がほぼ横ばいとなったが、その他の項目は悪化の動きとなっている。今後の見通しについては、▲37.5（今回調査比3.5ポイント下落）と悪化が見込まれている。

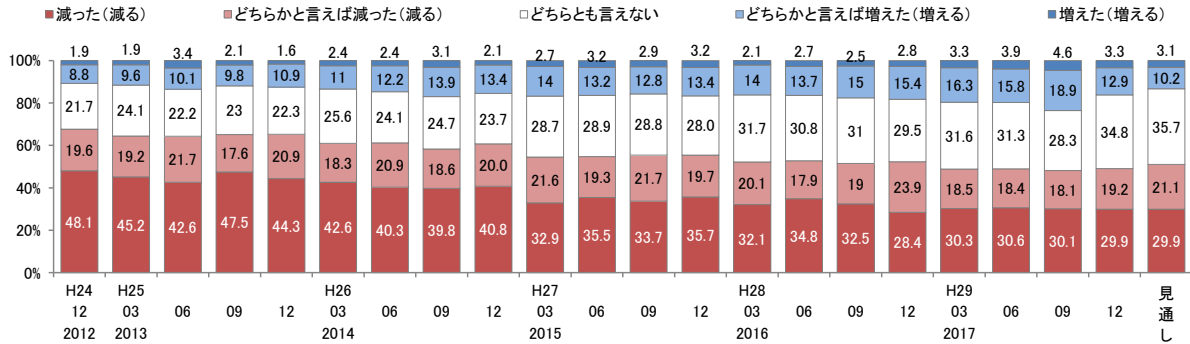
図表4 暮らし向き判断指数（内訳）の推移



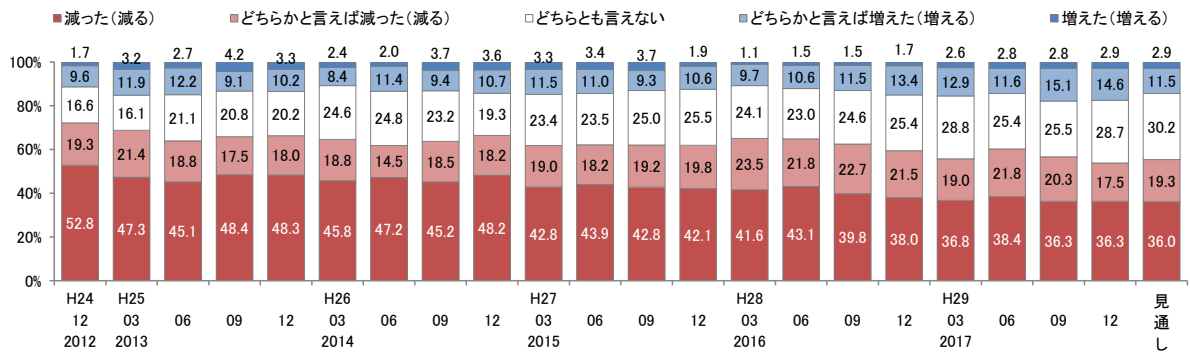
調査時期	暮らし向き判断指数					
		世帯収入	保有資産	お金の使い方	暮らしのゆとり	
28年	6月	▲ 41.8	▲ 8.5	▲ 11.8	▲ 8.3	▲ 13.2
	9月	▲ 37.6	▲ 8.0	▲ 11.0	▲ 7.2	▲ 11.4
	12月	▲ 36.8	▲ 7.5	▲ 10.1	▲ 7.5	▲ 11.7
29年	3月	▲ 34.5	▲ 7.0	▲ 9.3	▲ 7.1	▲ 11.1
	6月	▲ 37.0	▲ 7.0	▲ 10.2	▲ 7.8	▲ 12.0
	9月	▲ 30.9	▲ 6.3	▲ 9.0	▲ 5.1	▲ 10.5
29年	12月	▲ 34.0	▲ 7.4	▲ 8.7	▲ 6.2	▲ 11.7
	(前期比)	(▲ 3.1)	(▲ 1.1)	(0.3)	(▲ 1.1)	(▲ 1.2)
	(前年同期比)	(2.8)	(0.1)	(1.4)	(1.3)	(0.0)
30年	見通し	▲ 37.5	▲ 8.1	▲ 9.3	▲ 8.4	▲ 11.7
	(前期比)	(▲ 3.5)	(▲ 0.7)	(▲ 0.6)	(▲ 2.2)	(0.0)

(2) 暮らし向き判断の推移

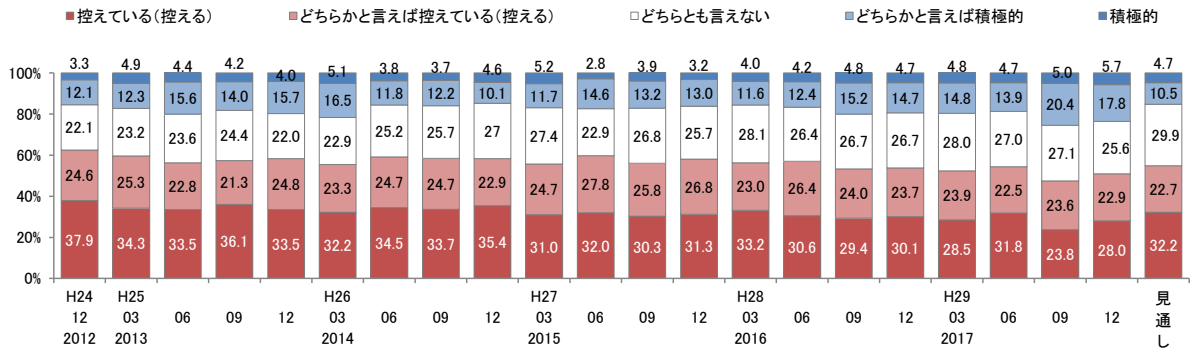
① 世帯（勤労）収入



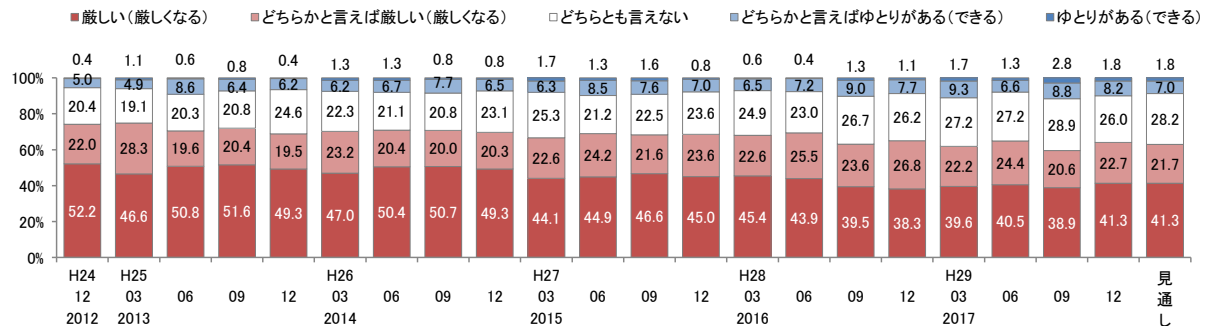
② 保有資産



③ お金の使い方



④ 暮らしのゆとり



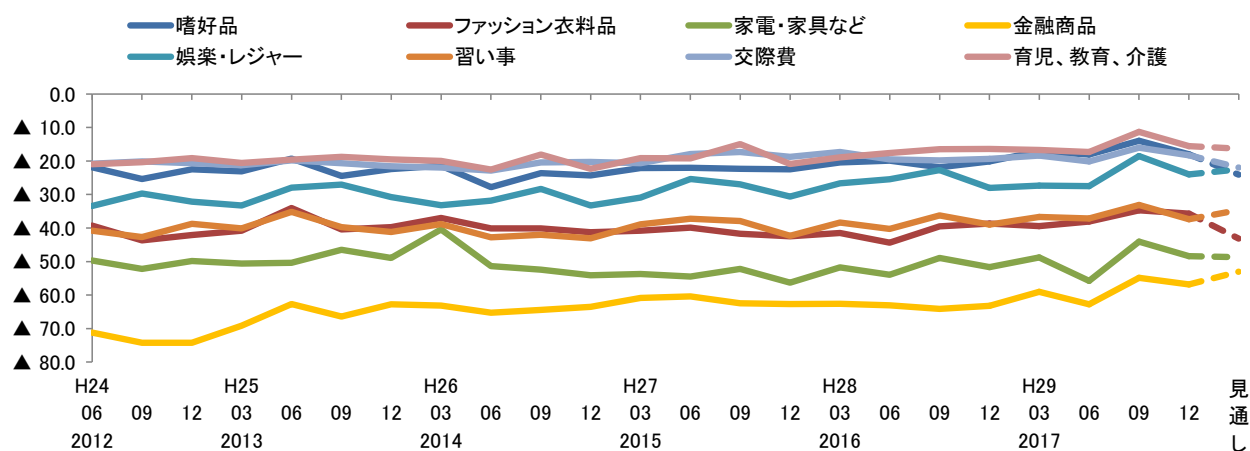
III. 支出意向

(1) 支出意向DIの推移

支出意向DIの平均値は、▲31.8（前期比3.5ポイント下落）と悪化となった。支出意向DIを形成する8つの項目をみると、すべての項目で悪化となっている。

今後の見通しは、▲33.0（今回調査比1.3ポイント下落）と引き続き悪化の見込みとなっている。項目別にみると、「金融商品」「娯楽・レジャー」「習い事」で改善、その他5項目で悪化の見込みとなっている。

図表5 支出意向DIの推移



調査時期	支出意向DI									
		嗜好品	ファッション衣料品	家電・家具	金融商品	娯楽レジャー	習い事	交際費	育児・教育介護	
28年	9月	▲ 33.7	▲ 21.9	▲ 39.5	▲ 48.9	▲ 64.2	▲ 22.8	▲ 36.3	▲ 19.9	▲ 16.5
	12月	▲ 34.6	▲ 20.1	▲ 38.7	▲ 51.7	▲ 63.2	▲ 28.1	▲ 39.0	▲ 19.4	▲ 16.4
29年	3月	▲ 32.9	▲ 17.1	▲ 39.5	▲ 48.8	▲ 59.0	▲ 27.4	▲ 36.7	▲ 18.4	▲ 16.8
	6月	▲ 34.6	▲ 18.1	▲ 38.1	▲ 55.8	▲ 62.8	▲ 27.5	▲ 37.2	▲ 20.1	▲ 17.3
	9月	▲ 28.3	▲ 14.0	▲ 34.7	▲ 44.1	▲ 54.9	▲ 18.5	▲ 33.1	▲ 16.0	▲ 11.3
29年	12月	▲ 31.8	▲ 18.0	▲ 35.7	▲ 48.4	▲ 56.9	▲ 24.0	▲ 37.4	▲ 18.3	▲ 15.6
	(前期比)	(▲ 3.5)	(▲ 4.0)	(▲ 1.0)	(▲ 4.4)	(▲ 2.0)	(▲ 5.5)	(▲ 4.3)	(▲ 2.3)	(▲ 4.3)
	(前年同期比)	(2.8)	(2.1)	(3.0)	(3.2)	(6.4)	(4.1)	(1.6)	(1.1)	(0.8)
30年	見通し	▲ 33.0	▲ 24.1	▲ 43.2	▲ 48.7	▲ 53.0	▲ 22.5	▲ 34.7	▲ 22.0	▲ 16.3
	(前期比)	(▲ 1.2)	(▲ 6.1)	(▲ 7.5)	(▲ 0.3)	(3.9)	(1.6)	(2.7)	(▲ 3.7)	(▲ 0.7)

【DI値の見方】

各項目とも、現状判断についてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

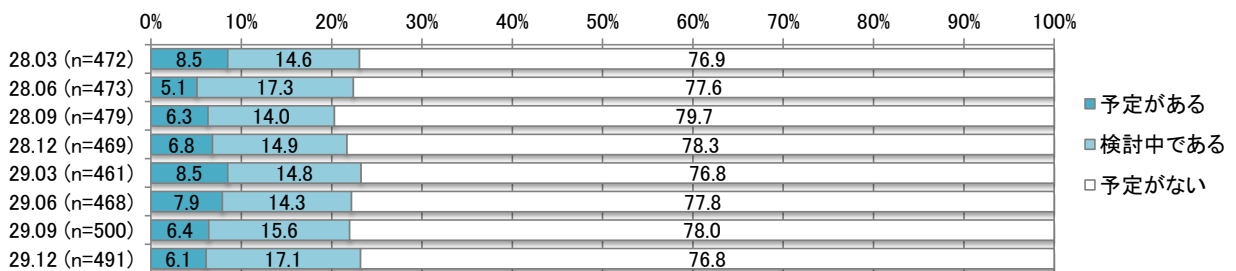
例) 嗜好品DI値

= 「1. 意欲的である」と回答した世帯の割合×1.0+「2. どちらかと言えば意欲的である」と回答した世帯の割合×0.5) - 「3. どちらかと言えば控える」と回答した世帯の割合×0.5+「4. 控えている」と回答した世帯の割合×1.0)

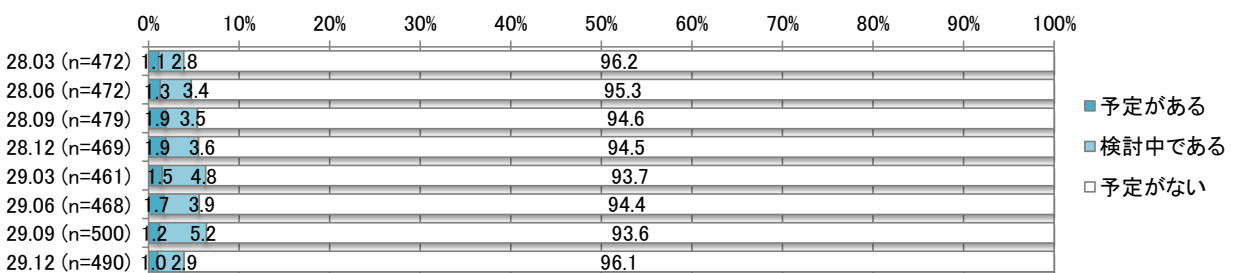
(2) 支出意向（大きな買い物）の推移

大きな買い物の支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車（中古車含む）」が6.1%（前期比0.3ポイント低下）、「住宅（マンション・中古住宅含む）・土地」が1.0%（前期比0.2ポイント低下）、「住宅リフォーム」が3.7%（前期比0.7ポイント低下）、「海外旅行」が1.4%（前期比0.8ポイント低下）と、すべての項目で若干低下となった。

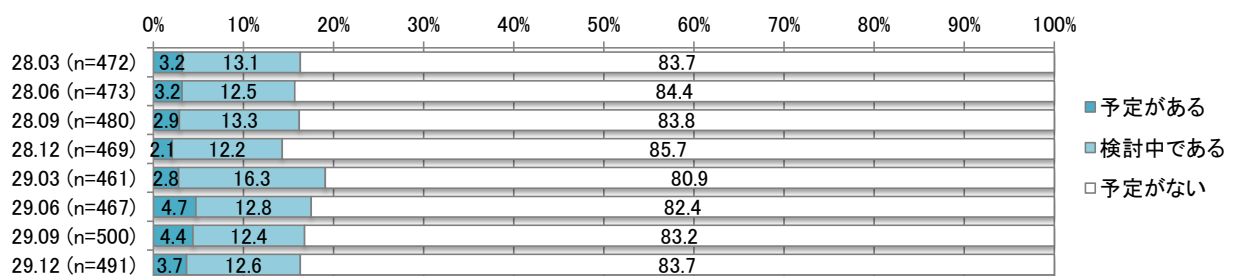
図表 6 自家用車（中古車含む）



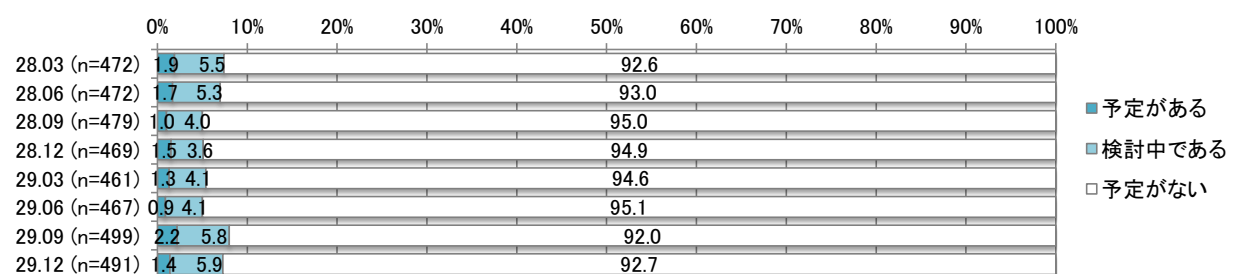
図表 7 住宅（マンション・中古住宅含む）・土地



図表 8 住宅リフォーム



図表 9 海外旅行

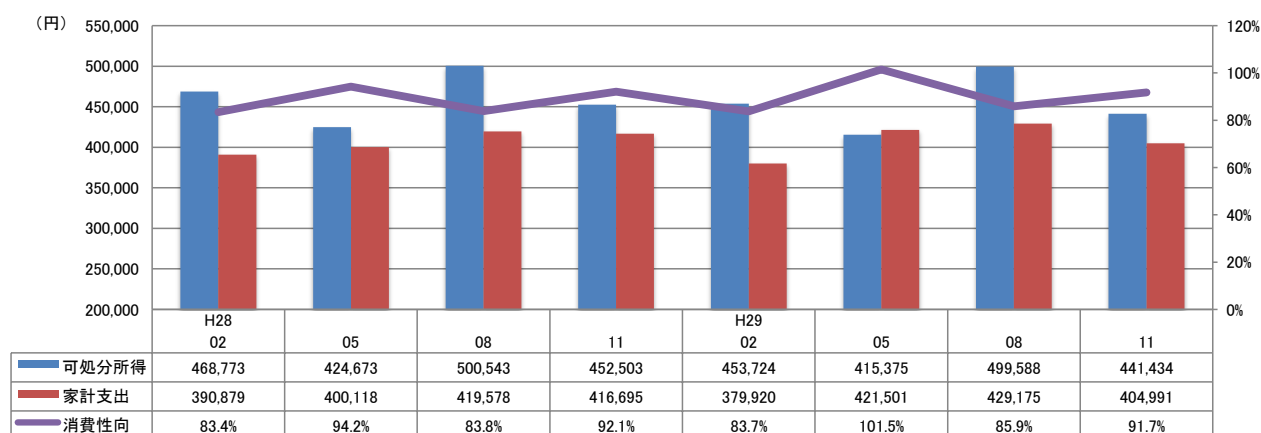


IV. 家計簿調査

図表 10 家計簿 (491 世帯平均)

調査項目		調査年月				
		28年 11月	29年 8月	29年 11月	(単位:円)	
					前期比	前年同期比
給 与	世帯主の定例給与《支給額》	327,172	323,068	322,753	▲ 315	▲ 4,419
	世帯主の臨時給与《支給額》	3,814	44,487	8,600	▲ 35,887	4,786
	A. 世帯主の給与《支給額》	330,986	367,555	331,353	▲ 36,202	367
	世帯員の定例給与《支給額》	126,644	137,685	142,544	4,859	15,900
	世帯員の臨時給与《支給額》	604	13,099	1,397	▲ 11,702	793
	B. 世帯員の給与《支給額》	127,248	150,784	143,941	▲ 6,843	16,693
世帯収入合計《支給額》(A+B)		458,234	518,339	475,294	▲ 43,045	17,060
収 入	世帯主の定例給与《手取り額》	256,318	252,554	249,960	▲ 2,594	▲ 6,358
	世帯主の臨時給与《手取り額》	3,411	37,178	4,569	▲ 32,609	1,158
	C. 世帯主の勤労収入合計《手取り額》	259,729	289,732	254,529	▲ 35,203	▲ 5,200
	世帯員の定例給与《手取り額》	105,220	112,845	115,200	2,355	9,980
	世帯員の臨時給与《手取り額》	551	11,068	1,148	▲ 9,920	597
D. 世帯員の勤労収入合計《手取り額》	105,771	123,913	116,348	▲ 7,565	10,577	
世帯収入合計《手取り額》(C+D)		365,500	413,645	370,877	▲ 42,768	5,377
(手 取 り 額)	1. 公的年金給付(老齢、障害、遺族年金)	9,872	37,098	9,590	▲ 27,508	▲ 282
	2. 保険給付金(医療、介護、失業保険)	2,531	2,546	1,629	▲ 917	▲ 902
	3. 各種手当(児童手当など)	4,304	2,951	2,883	▲ 68	▲ 1,421
	4. 利息、株式配当、投信配当金	2,204	3,273	3,049	▲ 224	845
	5. 事業収入(個人事業、農林水産業など)	3,754	6,416	4,064	▲ 2,352	310
	6. 不動産収入(駐車場、アパート家賃など)	2,565	3,473	3,153	▲ 320	588
	7. 有価証券売却・解約金(株、投資信託など)	4,703	2,084	11,772	9,688	7,069
	8. 不動産売却(土地、住宅、マンションなど)	0	0	0	0	0
	9. 中古品売却(リサイクルショップなど)	2,809	467	711	244	▲ 2,098
	10. 保険満期返戻金	3,185	3,418	48	▲ 3,370	▲ 3,137
	11. 保険一時金(生命保険、損害保険など)	3,200	7,369	1,987	▲ 5,382	▲ 1,213
	12. 相続、贈与、退職金	29,830	1,996	14,460	12,464	▲ 15,370
	13. 祝金、謝礼金、香典など	2,659	2,970	1,291	▲ 1,679	▲ 1,368
	14. 身内からの仕送り	2,157	4,433	2,189	▲ 2,244	32
	15. 借り入れ(カードローン、キャッシング)	8,949	1,581	8,589	7,008	▲ 360
	16. その他	4,281	5,868	5,142	▲ 726	861
E. その他収入(控除後)		87,003	85,943	70,557	▲ 15,386	▲ 16,446
I. 収入計(C+D+E)		452,503	499,588	441,434	▲ 58,154	▲ 11,069
支 出	1. 食費(飲食会費は含まない)	53,933	56,694	54,819	▲ 1,875	886
	2. 住居費(家賃、駐車場、修繕)	16,144	16,927	21,799	4,872	5,655
	3. 水道・光熱費(電気、ガス、上下水道、灯油など)	26,671	24,193	28,733	4,540	2,062
	4. 生活用品(生活雑貨、家事消耗品など)	10,660	11,344	11,115	▲ 229	455
	5. 被服・装飾費(衣服、アクセサリ等)	10,226	10,115	10,424	309	198
	6. 医療・介護・理美容(通院、医薬品など)	13,377	13,816	14,543	727	1,166
	7. 交通費1(バス、鉄道、飛行機、高速道路料金など)	3,433	5,631	3,723	▲ 1,908	290
	8. 交通費2(ガソリン代)	15,842	16,768	16,559	▲ 209	717
	9. 自動車関連費用(車検、メンテナンス、タイヤなど)	27,809	23,652	21,003	▲ 2,649	▲ 6,806
	10. 通信費(電話、新聞、受信料、プロバイダー料金など)	22,545	23,193	21,950	▲ 1,243	▲ 595
	11. 教育費(授業料、教材費、学習塾、部活費用など)	18,002	17,259	23,150	5,891	5,148
	12. 育児費(子ども用品、保育園、幼稚園など)	6,416	7,013	7,013	0	597
	13. 交際費(飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など)	15,876	20,544	15,725	▲ 4,819	▲ 151
	14. 娯楽、趣味(旅行、レジャー、映画鑑賞など)	9,606	23,810	12,504	▲ 11,306	2,898
	15. 習い事(英会話、料理教室、スポーツクラブなど)	2,912	2,391	2,503	112	▲ 409
	16. 高額商品(パソコン、家電、家具、インテリアなど)	14,114	8,838	6,210	▲ 2,628	▲ 7,904
	17. 金融商品1(株、国債、外貨、金など)	8,489	4,179	8,379	4,200	▲ 110
	18. 金融商品2(投資信託、変額・定額年金保険)	4,834	9,732	6,737	▲ 2,995	1,903
	19. 借入返済1(住宅ローン)	32,650	35,790	32,383	▲ 3,407	▲ 267
	20. 借入返済2(自動車、学資、カードローン)	17,510	16,984	13,217	▲ 3,767	▲ 4,293
	21. 税金、各種保険料支払い(給与天引き以外)	36,633	36,845	31,443	▲ 5,402	▲ 5,190
	22. 身内への仕送り(学生など)	10,211	11,841	10,362	▲ 1,479	151
	23. 小遣い、その他	38,802	31,616	30,697	▲ 919	▲ 8,105
II. 支出計		416,695	429,175	404,991	▲ 24,184	▲ 11,704
平均消費性向(支出計÷収入計×100)		92.1%	85.9%	91.7%	5.8%	▲ 0.3%
平均貯蓄性向(1-平均消費性向)		7.9%	14.1%	8.3%	▲ 5.8%	0.3%

図表 11 家計の収支と平均消費性向の推移



家計簿調査によれば、収入面では可処分所得（収入の手取り額）が441千円と前年同期比で11千円の減少となった。内訳をみると、減少額の大きい項目としては「相続・贈与・退職金」（前年同期比15千円減少）となっている。

支出面では、支出計が405千円と前年同期比で12千円の減少となった。内訳をみると、減少額が大きい項目としては「高額商品（パソコン、家電、家具、インテリアなど）」（前年同期比8千円減少）、「小遣い、その他」（前年同期比8千円減少）となっている。

その結果、平均消費性向（家計支出/可処分所得）は91.7%となり、前年同期に比べて0.4ポイントの低下となった。

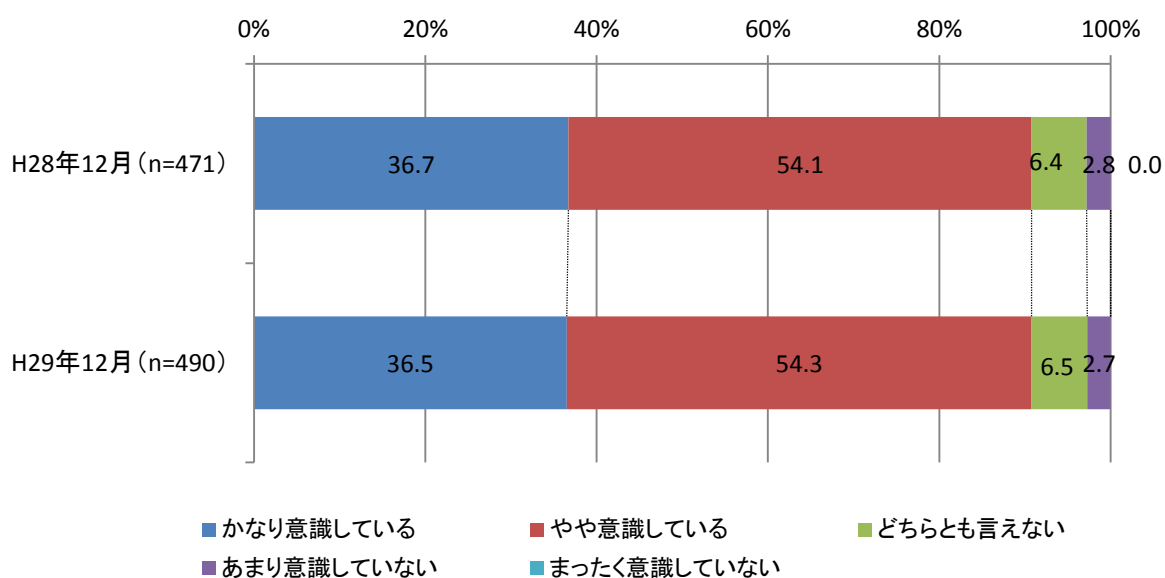
V. 特別調査

1. 節約の意識について

(1) 節約の意識について

日々の生活でどの程度節約を意識しているか尋ねたところ、「かなり意識している」が36.5%、「やや意識している」が54.3%とほぼ前年と同様の比率となり、節約を意識している世帯（「かなり意識している」+「やや意識している」を合わせた割合）は、依然として9割を超えて高い割合となっている。

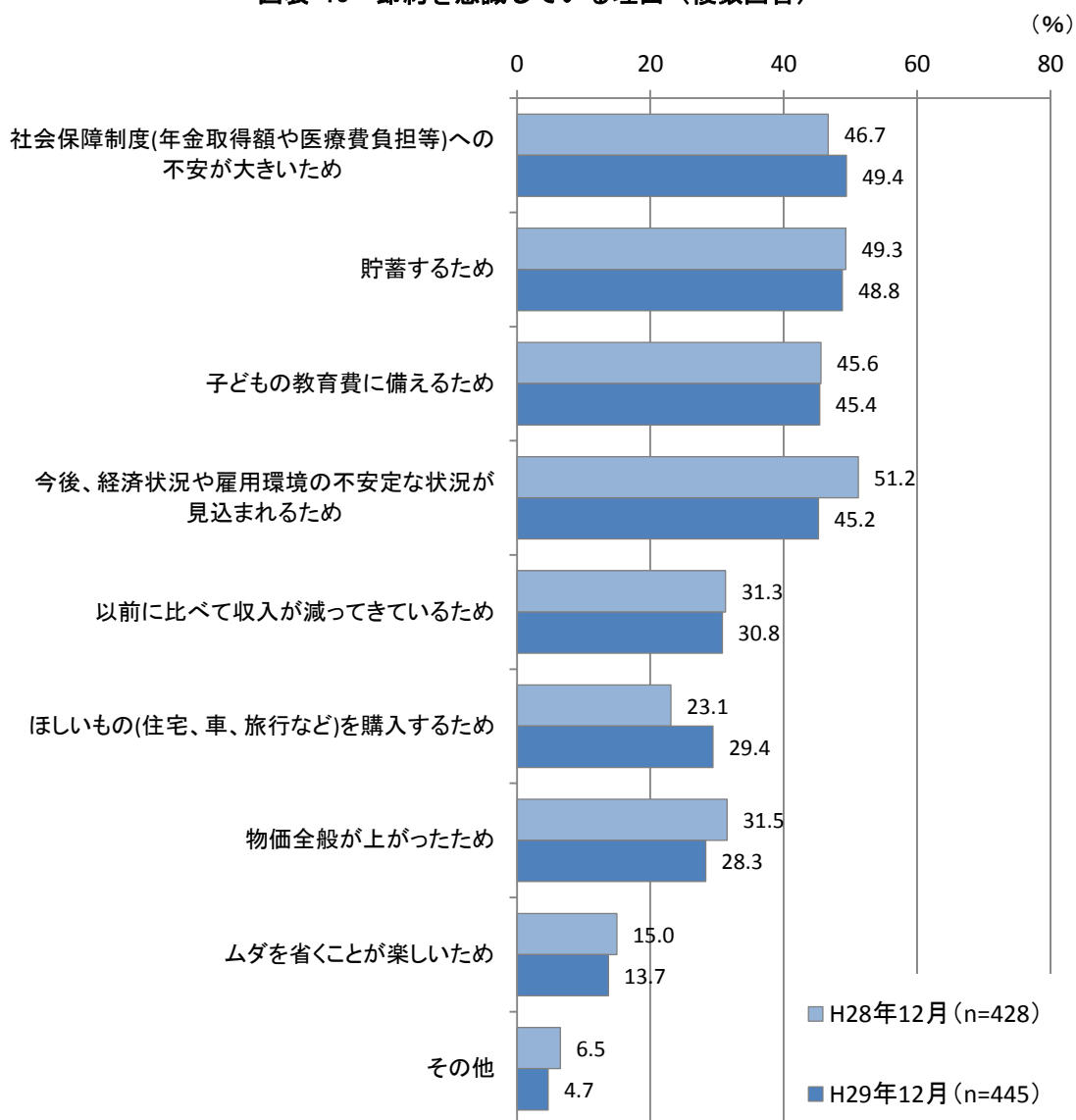
図表 12 節約の意識



(2) 節約を意識している理由

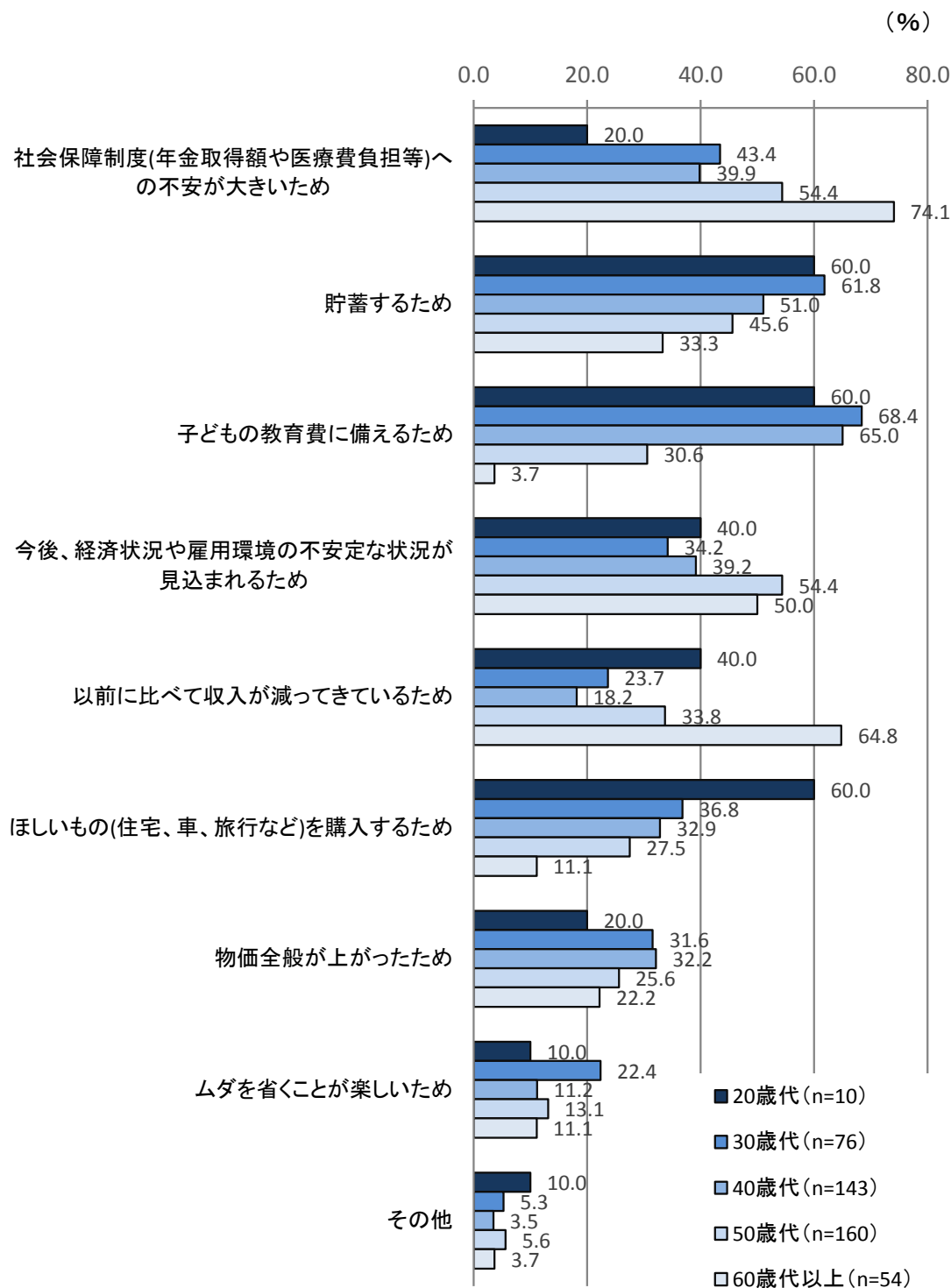
(1) で節約を意識していると回答した世帯に対して、その理由を尋ねた（複数回答）ところ、「社会保障制度（年金取得額や医療費負担等）への不安が大きいため」と回答した世帯が49.4%と最も多く、次いで「貯蓄するため」（48.8%）、「子どもの教育費に備えるため」（45.4%）、「今後、経済状況や雇用環境の不安定な状況が見込まれるため」（45.2%）となっている。前年の調査で第3位であった「社会保障制度（年金取得額や医療費負担等）への不安が大きいため」という理由が今回調査では第1位となっており、年金受取額の減少や医療費の負担増加などに対して不安を感じている状況が考えられる。

図表 13 節約を意識している理由（複数回答）



次に、世帯主の年齢別に節約を意識している理由をみると、50歳代、60歳代は「社会保障制度（年金取得額や医療費負担等）への不安が大きいため」という理由が最も高い割合を占めている一方、20歳代～40歳代は「子どもの教育費に備えるため」の割合が最も高い。「貯蓄するため」は年齢が若い方が割合の高い傾向にあり、「今後、経済状況や雇用環境の不安定な状況が見込まれるため」は50歳代、60歳代で高くなっている。

図表 14 世帯主の年齢別・節約を意識している理由（複数回答）

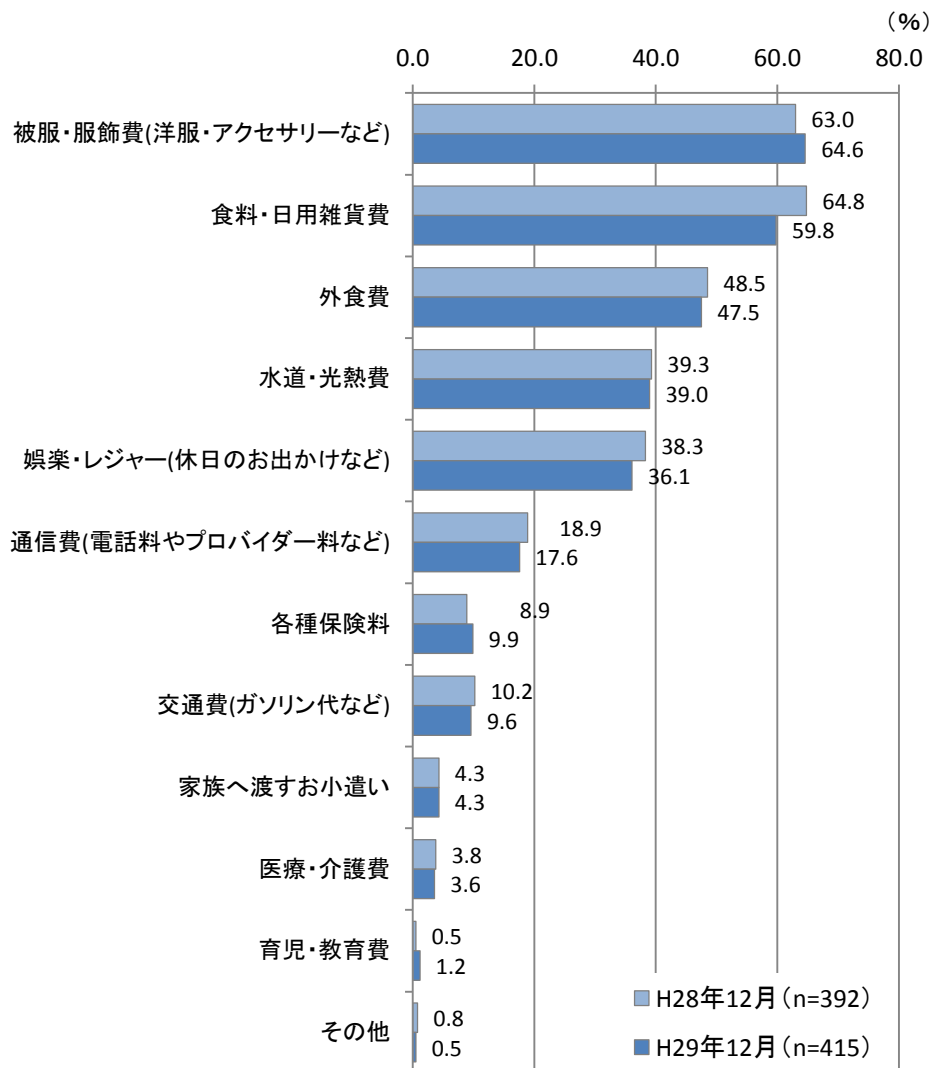


(3) 節約を特に意識する出費

特に節約を意識している出費について尋ねた（複数回答）ところ、「被服・服飾費（洋服・アクセサリなど）」が64.6%と最も多く、次いで「食料・日用雑貨費」（59.8%）、「外食費」（47.5%）となった。

順位は入れ替わったものの、支出金額の調整が比較的可能な「被服・服飾費（洋服・アクセサリなど）」や出費頻度の高い「食料・日用雑貨費」が前年に引き続き高い割合となり、日々の生活の中で節約を意識している状況がうかがえる。

図表 15 節約を特に意識する出費（複数回答）



VI. 調査の概要

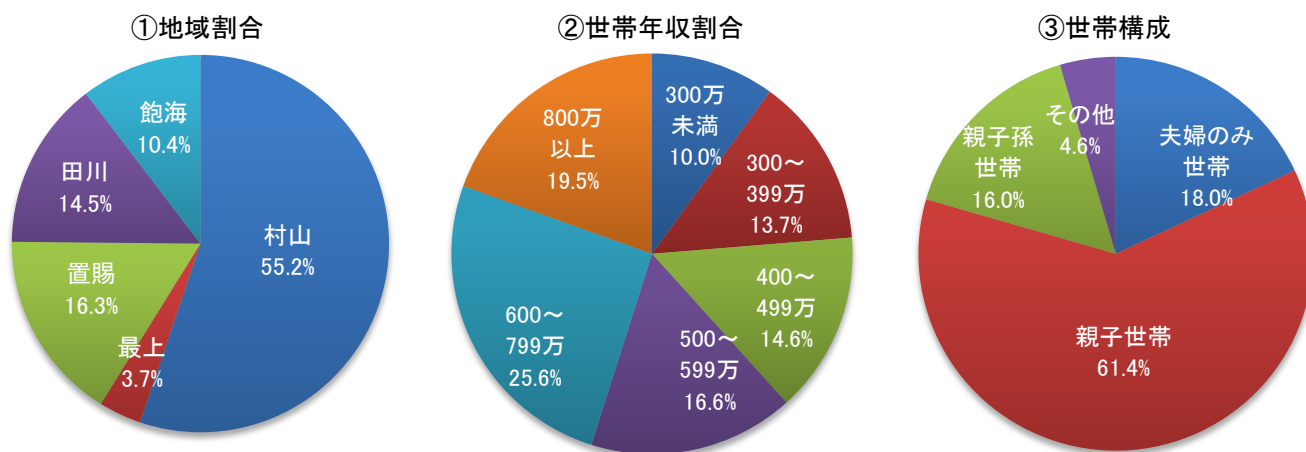
1. 調査の目的

山形県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の内容

- ◆ 郵送調査専用モニターを利用したアンケート調査
- ◆ モニター世帯数：531世帯 有効回答数：491世帯 回答率：92.5%

3. 回答モニター属性



4. 調査の対象者

- ・山形県内に在住する勤労者（サラリーマン）世帯（世帯人数2人以上の世帯）

5. 調査期間

- ・平成29年12月1日（金）～14日（木）

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所
研究開発グループ 熊本 均 / 手塚 綾子
〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F
TEL：023-626-9017 FAX：023-626-9038
E-mail：kenyuu@f-ric.co.jp URL：http://www.f-ric.co.jp/